



す^{SU}ば^{BA}る^{RU}

<https://subaru.shueisha.co.jp/>

「今、面白いもの」は何か。ジャンルに捉われず文学の最前を追う文芸誌。

注目を集める新人作家から人気実力を備えたベテラン作家まで、小説作品を中心に幅広く掲載。社会と時代を反映する特集を組み、批評や対談、海外文学作品の翻訳、映画、美術、演劇の紹介にも力を入れています。「すばる文学賞」で鮮烈なデビューを果たした太田ステファニー歎人さんの『みどりいせき』が三島由紀夫賞受賞、柴崎友香さんの本誌連載長編『続きと始まり』が谷崎潤一郎賞、芸術選奨文部科学大臣賞を受賞するなど着実な評価を得て、文学の「今」を捉えた作品を今後も数多く掲載していきます。

編集長

渡邊彩予

刊行形態	月刊
発売日	毎月6日発売
定価	1100円 (本体1000円)

判型	A5判
創刊	1970.5
平均発行部数 ※	0.5万部

※2026年1月～3月

スペース	料金 (円)	原稿寸法 (天地×左右mm)	純広申込締切	校了
表4	100,000	197×135	発売日の 40日前	発売日の 30日前
表2	80,000	210×146		
表3	70,000	210×146		
1C1P (オフ)	40,000	179.9×115.9		
1Cヨコ1/2P(オフ)	25,000	86.2×115.9		
1Cタテ1/3P(オフ)	20,000	179.9×35		

* 広告料金は税抜き価格です。

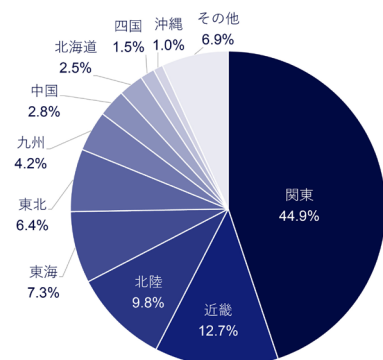
主な連載中作品※

- 町屋良平 『言葉と太陽』
- 高樹のぶ子 『小説 紫式部 墨染』
- 滝口悠生 『透波と乱波』
- 宇野常寛 『第四の主体のためのノート』
- 年森瑛 『四捨五入したら趣味』
- 若松英輔 『永遠への萌芽-対照的土壌とその霊性』
- 山内マリコ 『アンダーステア』
- 姜尚中 『岸信介の思想と行動』
- 朝吹真理子 『記憶糖』
- 高山羽根子 『2022 Twenty twenty two』

他

(※2026年6月現在)

配本比



※2024年販売データより